

高次脳機能障害のある方の就労に向けて 支援者が担う役割について考える ～企業の立場から～

○ 梅坪 千晴

(株式会社ファミリートA店 ファミマトレーナー)

角井 由佳

(特定非営利活動法人クロスジョブ クロスジョブ札幌 就労支援員)¹

はじめに



- 今回、高次脳機能障害のある方を初めて雇用した
- 支援者との密な連携を行った結果、本人が安心して就労に向けて取り組むことが出来た
- 支援者の必要性について企業の立場から支援者の役割、また他職種との連携の重要性について報告する

方法 対象者



また
東京で
生活したい!!



りょうへいさん(仮名) 50代男性

高次脳機能障害 精神障害者保健福祉手帳3級

前職

コンビニエンスストアでの夜間パート員(東京在籍)

現病歴

勤務中にクモ膜下出血を発症
回復期病院に転院するタイミングで北海道に移動
退院後、クロスジョブ札幌利用となった

身体機能面

麻痺・感覚障害なし

高次脳機能面

軽度の記憶障害、処理速度低下
ワーキングメモリの低下、失語症(数字理解)

就職までに行った支援者との連携

高次脳機能障害
を理解する



企業見学



スタッフ体験実習



本人の体験実習



雇用相談と
面接、採用



高次脳機能障害を理解する



こうじのうきしょうがい
高次脳機能障害

新しい仕事が
覚えられない

仕事や勉強に
集中できない

食べる・買い物などの
欲求が抑えられなくて
子どもようになる

いきあたりばったりが
多く、計画して実行が
できない

左側にぶつかる、
見落とすことが多い

怒りっぽくて、人
とうまくつきあうこと
ができない



■■■■■■ 様の症状の説明書

①頭の回転に時間がかかる（処理速度の低下）

目や耳から入った情報を頭で理解するまでに時間がかかってしまいます。
できなくなってしまっている訳ではなく、
【時間をかけることでできる】
【慣れたり、経験したものは早くなる】が特徴です。

②数字の苦手さ

数字の情報を頭で理解するまでに数秒の時間ロスが起きやすいですが、
経験していくことで瞬時の対応も可能になります。
何度も経験を時間をご配慮願います。

③覚えるまでに時間がかかる

覚えたいことを頭の引き出しに入れるまでに時間がかかりますが、
覚えてしまえば忘れにくいのが特徴です。
また耳で聞くだけでなく、メモを取る、体で覚えることで覚えやすくなります。

④複数のことを同時に行うことの苦手さ

状況に応じて、優先順位を瞬時に組み立てる
取捨選択を瞬時に行うことが苦手になっています。
経験していくことで複数の仕事も同時に行うことは可能となります。

どの症状に関しても
★経験することで早くなる
★時間の確保とメモを取る時間をとること
で問題なく業務を行える方です。

企業見学



全国チェーンで展開をしている
コンビニエンスストアの見学



積極的なメモ



元気な挨拶



高い就労意欲

お客様に配慮した立ち居振る舞い
経験者であるが故の行動でもあり好印象

スタッフ実習



業務内容

- 忙しさ(お客様の数)
- 業務量
- 複雑さ
- スピード感



環境

- 音や目からの情報の多さ
- お客様の傾向
- 休憩場所の環境
- 相談がしやすい環境

指示系統

- 定着しやすい指示系統か
- 理解しやすい伝え方
- キーパーソンの人数



人的環境

- スタッフの方の興味関心
- 障害の知識
- 支援者の存在を認識



りょうへいさんがマッチングするのかアセスメント
りょうへいさんの強みを引き出す方法のすり合わせ

企業にお渡しした資料 (一部抜粋)

流れ



10月17日
見学終了

想定業務

その他
店内清掃
も可能性あり

用度品の補充

- スプーンや箸などのレジでお渡しする用度品を補充する

納品の対応

- 納品された商品（便によって異なる）の確認・品出し

ウォークの補充

- バックヤードでの飲料
- 入りきらなかった商品

チルド品の管理

- チルド商品（紙パック）
- 補充

割引シールの貼付作業

- 一覧表を見ながら、

体験実習前の準備するもの

依頼書 (別紙1)

- 実習を依頼する利用者、実習種類などを記載した依頼書
- 企業へ提出し、企業保管

受領書 (別紙2)

- 企業印（認印の印鑑で可）をいれたとき、クロスシール貼着

同意書 (別紙3)

- 本人の実習同意書 ※企業には見せない書類

実習日報 (別紙4)

- 1日1枚実習の振り返り書き用紙
- 利用者のコメントをいれたきり紙の調製や出来てい

サポートブック (別紙5)

- 実習の目的や実習の目標、障害特性を記載した書
- 実習初日または事前打ち合わせ時に本人から企業に

実習評価表 (別紙6)

- 実習終了時のクロージングにて本人にお渡しする書
- 「一緒に働く」という視点で各項目を段階で評価し

実習中の動き

事前打ち合わせ

or

当日オリエンテーション

- 企業・実習希望者・支援者で実施（約30分～1時間）
- サポートブックの読み上げ
- 障害特性に対して企業様からの質問対応
- 実習希望者からの質疑応答の時間

実習

- 支援者の訪問頻度については、利用者の希望に合わせて調整
- 実習初日/クロージングの際に訪問することが多い
- スタッフの巡回訪問時は30分程度滞在させていただきます。
- 本人の様子を確認するほか、企業様から様子を確認させていただきます

クロージング

- 実習の最終日、または別日で実施（約30分～1時間）
- 実習評価表をもとに、企業様の意見をいただく
- 利用者の実習の感想を共有

体験実習の経験

初日

- 実習の目的、実習中に頑張りたいことの共有
- 高次脳機能障害も含めた特性をお伝え



本人

企業

企業

- 比較的客数が少ない時間帯に調整し、りょうへいさんへの対応時間を確保
- 業務内容はタイムスケジュールを書き出し、頭の処理を簡略化
- 必ず練習時間を確保し、近くで見守る体制

支援者

- 企業訪問をして
- 本人の様子確認
 - 困り感がないか企業に確認
- ⇒適宜説明

実習中

最終日

- 実習の様子の共有
- 第三者から見た強み
- 課題点、心配な点



本人

企業

直接店長から
フィードバック

雇用相談と面接、採用



雇用相談



面接



採用

結果



本人の就労状況



スキルアップ



支援者との連携



採用後の課題



結果 本人の就労状況



1日5時間、週4日間勤務からスタート。
現在は1日5 - 8時間、週5日間勤務。



レジ、接客



納品、品出し



フライヤー作成



清掃

結果 スキルアップ

↑
ステップアップ

	ファミマ マスター	店舗の全ストアスタッフを チームにまとめ、QSCレベル向上を 店全体で実践できる	
	ファミマ トレーナー	ストアスタッフをトレーニングできる 店内コミュニケーションを促進できる	
	ファミマ サブトレーナー	売場づくりの基本を理解している 商品の発注ができる	
	ファミマ スター	時間帯責任者として勤務できる QSCレベル向上に努めることができる	
	ファミマ スタッフ	基本的なQSCを理解して実行できる 基本の店舗運営業務ができる	



	エクセレントスタッフ賞	全国各地域におけるNo.1スタッフ
	全職員賞	長期勤続し西鎮運営に貢献しているスタッフ
	ステップアップ賞	SST賞格でスキルアップされたスタッフ
	グッドジョブ賞	日頃より頑張ってくれているスタッフ

※上記は2024年度の表彰制度の内容

結果 支援者との連携



就職後6か月

企業訪問	業務状況の確認、企業の困り感がないか情報共有
ケース会議	出来ていること、課題点の共有 働く上で意識すること、取り組むべきことの明確化
定期面談	業務上の悩みや発症前とのギャップへの落ち込み について吐き出す場所の提供
事業主支援	本人と企業が支援者なしでもお互いが働きやすい 職場調整が出来るよう対応

半年以降

企業の献身的な対応もあり、現在は定期面談のみで、
課題が出た際に適宜ケース会議・企業訪問を行っている

結果 採用後の課題

本人



支援者



企業(上司)

- 安定して働けてるが、なぜケース会議が必要？



企業(指導者)

- 働きすぎで水分補給もできていない。
- 再発させてしまう...

考 察

医療従事者

就労後も
つないだ命を
みてほしい



就労支援員

- ・採用前のスタッフ実習
- ・本人をよく理解している
- ・企業との連携を密に



企業

- ・障害への理解
- ・他職種との連携

